

仕様書

1. 件名 医薬品在庫管理システム（ソフトウェア・ハードウェア）
2. 履行場所 長崎県壱岐病院 壱岐市郷ノ浦町東触1626番地
3. 目的 在庫の適正化、業務の効率化、使用期限・ロットの確実な管理を通じて、安全で確実な医薬品管理体制を構築する。
4. 履行期限 契約日から令和7年8月31日
5. 機能仕様

(1) 基本仕様

- ① Winodws11 で動作するシステムであること。
- ② 各種運用でハンディターミナルを利用できること。読み取るバーコードはGS1コードに対応していること。また新コードと旧コードの両方を読み取れること。
- ③ システムはIDとパスワードの入力により起動できること。
- ④ 在庫は、包装規格毎に保有し、在庫単位も薬品毎に箱単位、バラ単位で設定できること。
- ⑤ システムのキーは、任意のコードが設定可能であること。
- ⑥ キーにJANコード、GS1コードが紐づけられていること。
- ⑦ マスタ内の取引単価・薬価は全世代管理がされていること。
- ⑧ システム内の日付指定はカレンダー表示して指定ができること。
- ⑨ 在庫システムは2ライセンスまで使用可能なこと。
- ⑩ 既存の調剤システムとの連携が可能なこと。

(2) 発注管理

- ① 発注データ作成方式として、お、任意コードで薬品検索が行えること。
- ② 発注データ作成方式として、在庫数が設定した定数を下回った際、その差分を自動算出する定点発注が行えること。また、定点発注対象/非対象が薬品毎に設定できること。発注点は3点設定できること。
- ③ 定点発注で自動算出した発注数を、任意に数量変更が行えること。
- ④ 発注データ作成方法として、事前に任意のセットを作成し、その中から発注薬品を指定して発注データを作成できること。またセットは複数作成できること。
- ⑤ 発注データ作成方法として、過去の指定した期間の出庫数量から1日平均を算出し、指定した日数分のデータを作成する定期発注が行えること。
- ⑥ 発注データ作成方法として、ハンディターミナルでデータ作成が行えること。
- ⑦ 発注データ作成方法として、指定日の出庫された薬品一覧から発注データを作成ができること。
- ⑧ 発注データ毎に納品日と納品場所の指定が行えること。
- ⑨ 発注データはオンラインで卸へ送信できること。回線はインターネット回線で送信できること。再送信機能も保持していること。またインターネットに直接繋がっていない場合は発注データをファイル出力し、別のインターネットに接続されているパソコンから送信できること。
- ⑩ 発注データを仕入れデータの登録時に納品予定データとして利用できること。
- ⑪ 発注リストは日付、卸別等複数の出力順が指定可能で、発行・再発行が行えること。
- ⑫ 発注リストは保管場所別に出力できること。
- ⑬ 翌月発注（未来日発注）処理が行えること。
- ⑭ 作成した発注データに、区分を付けてデータ毎に種類を分ける管理できること。
- ⑮ 発注リストも区分別に出力できること。
- ⑯ 発注した薬品が入庫した時点で指定部署へ出庫処理する場合、発注データ作成時にその部署を指定できること。
- ⑰ 発注画面上で過去の発注履歴の参照が行えること。
- ⑱ 発注画面上で送信済み薬品と未送信の薬品の切替表示ができること。
- ⑲ 発注画面で指定した薬品の在庫情報、出庫履歴や出納情報の確認が行えること。
- ⑳ 卸との取引で口座を分ける薬品を設定し、その設定情報が発注送信時に卸に送れること。
- ㉑ 発注データ作成時に納品日を指定することができること。その納品日が発注送信時に卸に送れること。
- ㉒ 指定した納品日時点で現購入卸、単価から変更される場合は、変更後の卸、単価で発注データを作成すること。

(3) 仕入（入庫）管理

- ① 入庫データ登録方法として、発注済み薬品の一覧（納品予定一覧）から入庫対象薬品を選択して一括で入庫登録ができること。その際、卸や発注日等で絞込みができること。また入庫対象薬品を選択した際、金額の合計も画面に表示されること。
- ② 分納があった場合は、今回入庫数のみ入庫登録を行い、未納分は未入庫データとして管理できること。
- ③ 入庫データ登録方法として、ハンディターミナルでデータ作成が行えること。またハンディターミナルのデータをシステムへ反映すると納品予定一覧と突合せを行い引き落とすことができること。
- ④ 入庫データ登録方法として、発注データを作成していない薬品でも、バーコードやカ検索で薬品を検索して入庫データの作成が行えること。
- ⑤ 入庫データの登録方法として、医薬品卸が対応可能な場合は納品実績をデータセンター経由で取込み入庫データとして登録できること。その際、納品データ内の金額とマスタ内の金額と差異がないかチェックできること。また納品データの中にシステム内の薬品マスタにないJANコードの商品が含まれていた場合エラー表示すること。
- ⑥ 入庫リストは日付、卸別等複数の出力順が指定可能で、発行・再発行が行えること。
- ⑦ 未納品リストが出力が行えること。
- ⑧ 未納品薬品キャンセルする場合、当該薬品を未納品一覧から削除できること。
- ⑨ 翌月仕入（未来仕入）処理が行えること。
- ⑩ 入庫画面上で過去の入庫履歴の参照が行えること。
- ⑪ 入庫画面で指定した薬品の在庫情報、出庫履歴や出納情報が確認が行えること。
- ⑫ 薬品の有効期限、ロット情報の登録ができること。
- ⑬ 項目5の医薬品卸からの納品データ取り込みの際、データ内の有効期限・ロット情報を登録ができること。また入庫情報に有効期限、ロット情報が引き当たっていない薬品を確認できること。
- ⑭ ハンディターミナルでも有効期限・ロット情報の登録が行えること。また手入力でも入力が行えること。
- ⑮ 登録された有効期限情報に基づき在庫の有効期限チェックができること。指定した日付に対し、有効期限がその日付を超える薬品を抽出する事ができる事。またEXCELデータとして出力できること。
- ⑯ 登録されたロット情報に基づき購入実績の確認ができること。指定したロットに対し、そのロットに該当する商品を抽出できること。
- ⑰ 卸への返品登録ができること。また項目5の医薬品卸からの納品データ取込を利用する場合には返品情報も取り込むこと。
- ⑱ 値引き登録として、薬品個別の値引き登録と一括値引き登録ができること。

(4) 出庫管理

- ① 出庫データ作成方式として、カ、任意コードで薬品検索が行えること。
- ② 出庫データ作成方法として、ハンディターミナルでデータ作成が行えること。
- ③ 出庫データ作成方法として、指定薬品については指定部署に入庫した時点で自動的に出庫データの作成ができること。
- ④ 出庫データ作成方法として既存の調剤支援システムより処方情報、実績情報等を取り込み出庫データの作成ができること。
- ⑤ 出庫データ作成方法として、任意の薬品のセットを登録し、そのセットの一覧に出庫数量を登録して出庫データ作成ができること。
- ⑥ 出庫データ作成方法として事前に設定した部署別の定数一覧に出庫数量を登録して出庫データ作成ができること。
- ⑦ 出庫リストは部門別等複数の出力順が指定可能で、発行・再発行が行えること。
- ⑧ 過去の出庫データを画面上で検索でき、修正が行えること。
- ⑨ 出庫画面上で過去の出庫履歴の参照が行えること。
- ⑩ 出庫画面で指定した薬品の在庫情報、出庫履歴や出納情報の確認が行えること。

(5) 請求管理

- ① 病棟/部署等からの請求情報を入力して管理ができること。
- ② 請求数の登録はカ検索と部署毎にセットを作成してその中から選択して作成できること。
- ③ 登録した請求情報を出庫データとして登録ができること。また発注データとして登録ができること。

- ④ 請求情報を請求部署別にリスト出力することができること。
- ⑤ 請求部署が直接請求入力できるための請求プログラムを各部署内に配置できること。

(6) 廃棄登録

- ① 廃棄、期限切れ等の登録ができること。廃棄理由を種別選択、コメント入力ができること。
- ② 廃棄関連のみのリスト出力ができること。また金額集計も行えること。

(7) 棚卸管理

- ① 棚卸数量が書き込めるバーコード付の棚卸調査表が出力できること。
- ② 棚卸調査表は設定した剤型別や保管場所別に出力できること。
- ③ 棚卸画面の薬品の並び順が調査表の出力順と同じにできるソート機能があること。
- ④ 棚卸数の作成方法として、ハンディターミナルでデータ作成が行えること。
- ⑤ 棚卸数の入力画面に初期登録として空欄、0、理論在庫のいずれかを設定ができること。
- ⑥ 棚卸データ作成方式として、棚、任意コードで薬品検索が行えること。
- ⑦ 入力情報の妥当性の確認として、入力した棚卸数量が指定した過去の月の実績と比較ができるチェック機能。当月購入実績がないにもかかわらず、前月と在庫が変わっている薬品がないかチェックする機能を保持していること。
- ⑧ 登録した棚卸数量とシステム内在庫数量との差分が確認できる対比表が出力できること。画面、帳票で表示できること。
- ⑨ 対比表上生じている差分を出庫データを作成して一括で調整できること。
- ⑩ 登録した棚卸実績に対して棚卸金額リストの出力が行えること。（棚卸金額の評価はその時点の納入価）
- ⑪ 棚卸は在庫を管理している部門（1次部門）の他病棟や部署等（2次部門）が実施できること。棚卸金額は1次部門のみ、2次部門のみ、1次2次合算で算出ができること。
- ⑫ 棚卸金額は1次部門のみ、2次部門のみ、1次2次合算で算出ができること。

(8) マスタ管理

- ① 既存システムより必要項目が付加された状態でデータが出力される場合、マスタデータを移行できること。
- ② 薬品マスタには後発品区分（非該当、後発品、後発品無、後発品有）の設定ができること。
- ③ マスタ項目には以下の設定が含まれていること。
薬品コード/略称/薬価基準コード/規格単位/備考/剤型/採用開始日/採用停止日/発注開始日/JANコード/販売包装コード/調剤包装コード/商品名（漢字）/商品名（カナ）/包装規格/メーカー/YJコード/HOTコード/統一商品コード/レセプトコード/薬効大分類/薬効中分類/薬効小分類/毒劇区分/習慣性区分/麻薬区分/保管場所区分/向精神薬区分/覚醒剤区分/生物由来品区分/保管温度区分
- ④ マスタの項目として内容を任意に設定できる独自マスタが複数あること。
- ⑤ JANコード/販売包装コード/調剤包装コードは現/旧コードが保持されること。
- ⑥ JANコードがない商品を登録する際にダミーのコードを自動作成できること。
- ⑦ 各種マスタは随時修正ができること。
- ⑧ 採用薬品一覧集が出力できること。
- ⑨ 1つの薬品に対し、保管場所は複数設定することができること。
- ⑩ 保管場所内でさらに詳細に棚番設定ができること。
- ⑪ 登録されている薬品マスタのバーコード付き薬品集が出力できること。その他ラベル形式、シール形式の出力もできること。
- ⑫ 登録されている採用薬品の薬効別一覧が出力できること。
- ⑬ マスターマスタを保持し、新期登録の際GS1コード若しくは薬品名で検索すると薬品の基本情報が登録できること。マスターマスタにない場合は手入力で薬品登録ができること。マスターマスタは毎月更新とすること。
- ⑭ マスターマスタはパソコンが直接インターネットに接続されている場合は直接データを取得して更新ができること。インターネットに接続されていない場合は手動で更新ができること。
- ⑮ マスターマスタの内容と薬品マスタの内容をJANコードで突き合わせて最新情報に更新ができること。更新情報の確認は、薬品単位と全薬品の両方可行すること。

- ⑯ 登録されているマスタ情報をEXCELファイルに一度出力し、EXCEL上で変更した後に再度取り込んでマスタ情報の変更ができること。
- ⑰ 手入力で新規薬品を登録する際、既に登録されている薬品情報の内容をコピーし、任意の項目を変更して登録ができること。
- ⑱ 棚番毎の定数の一覧表が出力できること。

(9) 帳票出力

- ① 以下の帳票が出力されること。また帳票は全てEXCEL形式で出力されること。出庫金額、在庫金額の評価はマスタの最新の納入価で評価すること。

(帳票出力一覧)

- ・発注リスト・・・・・・・・・・発注データ登録された薬品のリスト。
- ・発注点割れリスト・・・・・・・・システム内の在庫数量が定数を下回っている薬品の一覧リスト
- ・送信済リスト・・・・・・・・・・発注データのうち、発注処理済みの薬品のリスト
- ・未送信リスト・・・・・・・・・・発注データのうち、発注未処理の薬品のリスト
- ・入庫リスト・・・・・・・・・・入庫データ登録された薬品のリスト
- ・未納品リスト・・・・・・・・・・発注処理した薬品のうちまだ入庫登録されていない薬品のリスト
- ・出庫リスト・・・・・・・・・・出庫データ登録された薬品のリスト。部門別等の出力が行える。
- ・棚卸調査表(バーコード)・・・・・バーコード付の棚卸調査表
- ・棚卸金額リスト・・・・・・・・・・登録した棚卸数量を金額算出するリスト。
- ・月度日次一覧・・・・・・・・・・発注、入庫、出庫の1ヶ月の数量実績をカレンダー形式で出力する。
- ・在庫リスト・・・・・・・・・・システム内の現在在庫情報を出力する。
- ・金額一覧・・・・・・・・・・薬価、納入価、在庫金額、薬価差率等入庫、出庫データを金額ベースで出力する。
- ・ランキング・・・・・・・・・・入庫、出庫実績を金額ベースでランキングで出力する。
- ・薬価差益・・・・・・・・・・入庫、出庫実績の薬価差益情報を出力する。
- ・デットストック・・・・・・・・・・入庫、出庫実績で指定した月数内に実績がない(データが存在しない)薬品を出力する。
- ・出納簿・・・・・・・・・・指定した薬品の入出庫明細履歴を出力する。
- ・年次リスト・・・・・・・・・・発注、入庫、出庫、在庫の年間の数量実績を各月別に出力する。
- ・ABC分析・・・・・・・・・・入庫、出庫実績の金額ベースのランキングの上位からABCランク分けして出力する。
- ・任意帳票・・・・・・・・・・在庫リスト、ランキング、薬価差益、ABC分析の各リストの出力項目を任意に選択し出力する。出力する項目を選択することができること。またその選択した出力項目を保存することができること。保存は何種類もできること。

(10) 見積管理

- ① 見積金額の登録方法として卸に見積金額を登録してもらうためのファイルの出力が行えること。(EXCEL, 等) 卸が価格を入力したファイルの取り込みが行えること。
- ② EXCELファイルには指定した期間の購入実績数を参考情報として表示することができること。
- ③ 各卸の見積金額のうち同価格のみ抽出することができること。
- ④ 各卸の見積金額のうち薬価との乖離率を調べることができること。乖離率は上限/下限で指定できること。
- ⑤ 確定した金額で、指定した日から遡って更新することができること。
- ⑥ 各卸の見積金額をまとめる見積金額リストが出力できること。
- ⑦ 金額確定後、これまでの取引卸及び金額の変更内容が確認できる変更リストが出力できること。

(11) その他

- ① 薬価金額の一括更新が行えること。
- ② 発注点を過去の出庫実績に基づいて薬品別に算出し一括で変更が行えること。算出結果は個別に変更できること。

- ③ 全マスタ情報をEXCEL形式若しくはテキスト形式で出力することができること。出力する項目を選択することができること。
またその選択した出力項目を保存することができること。
- ④ 発注、入庫、出庫の履歴情報をEXCEL形式若しくはテキスト形式で出力することができること。出力する項目を選択することができること。
- ⑤ 定数管理マスタを保持し、薬品単位、部署単位で定数情報が確認できる帳票が出力されること。またバーコード付きの定数表も出力できること
- ⑥ 既存システムよりデータが出力される場合、履歴データを移行できること。
- ⑦ マスタの複数一括登録用の様式ファイルを出力し、その様式に登録したい薬品の情報を入力後に取り込むと登録できること。

6. 概要

(1) 設置箇所 壱岐病院薬局

(2) 参考機種 別紙1の通り

(3) その他

- ア. 同等品の申請は機器の詳細がわかる資料（機器カタログ等）指定の期日までに提出し事前に承認を得ること。
- イ. 設置工事の具体的日時については、その都度、甲乙が協議し、調整・決定する。
- ウ. 適正な点検を行い、病院機能に支障のないよう業務を行うこと。又、突発的な事象にも迅速な対応を行うこと。
- エ. 環境衛生の維持管理に関する監督を行い、衛生的環境の確保に努めること。

I ハードウェア

1. ハンディターミナル
型式：BT-1550
メーカー：KEYENCE
2. BT-1000シリーズ用通信ユニット（USBタイプ）
型式：BT-UC10U
メーカー：KEYENCE
3. BT-1000シリーズ用充電電池パック 大容量タイプ
型式：BT-B12
メーカー：KEYENCE
4. デスクトップパソコン
型式：Pro SFF400G9-HSC-F003SF
（モニター：21.5型ワイドカラー液晶ディスプレイ PTFBLG-22W）
メーカー：HP Inc.
5. ラベルプリンタ
型式：HC4-LX
メーカー：サトー
6. 外付けHDD
型式：HDJA-UT1R
メーカー：アイ・オー・データ機器
7. カラーレーザープリンター
型式：C650
メーカー：OKI

詳細な仕様については、基準品のパンフレット等を参考にすること。

II 注意事項

1. 上記要求機器仕様基準品と同等品以上の機器にて入札すること。
2. 上記基準品以外の機種で入札する場合は、設置現場の現況確認の上、機種選定し、「仕様回答書」として、下記の期日までに郵送または持参にて提出し、事前に審査を受けること。

III 仕様書提出場所

- | | |
|----------|---|
| 1. 提出場所 | 長崎県壱岐病院 財務係 |
| 2. 提出期限 | 令和7年4月22日 17:00までに提出すること。 |
| 3. 記載内容等 | メーカー名・品名・規格・型番を明記し、仕様要件と入札要件が比較できるよう記載、代表者職氏名・代表者印押印、仕様を満たす機種のカタログ等仕様を確認できる書類を添付。 |
| 4. 審査結果 | 令和7年4月24日までに財務係より審査結果を回答する。 |